

「注入計画の策定に関する考え方」

- 当社は、払出エリアごとに、翌日に導管へ注入する1時間ごとのガス量の計画値である注入計画を毎日策定します。
- その注入計画を、各ガス小売事業者から提出いただいた計画払出ガス量の比率で1時間ごとに按分して注入指示量を策定し、各ガス小売事業者へお知らせします。

注入計画の策定方法の具体的なイメージ

- 当社は、下図のエリア●およびエリア▲の2つの払出エリアを設定しており、過去の実績・気水温、各受入地点の地理的特性等を基に、払出エリアごとの注入計画（右下図（「エリア●の注入計画」と「エリア▲の注入計画」）の各赤線）を策定します。
- その注入計画を、エリア●のように複数のガス小売事業者が存在する払出エリアの場合、それらのガス小売事業者の計画払出ガス量（左下図の小売X $300\text{m}^3/\text{日}$ 、小売Y $200\text{m}^3/\text{日}$ ）の比率（小売A：小売B = 3：2）で按分して注入指示量を策定（右下図「エリア●の注入計画」の青線が小売X、緑線が小売Y）し、エリア▲のように単一のガス小売事業者しか存在しない払出エリアの場合、注入計画を注入指示量として策定（右下図「エリア▲の注入計画」の赤線が小売X）し、各ガス小売事業者へお知らせします。

製造設備A・Bからの払出可能エリア (エリア●)

小売Xの計画払出ガス量： $300\text{m}^3/\text{日}$
小売Yの計画払出ガス量： $200\text{m}^3/\text{日}$



製造設備Cからの払出可能エリア (エリア▲)

小売Xの計画払出ガス量： $600\text{m}^3/\text{日}$

